

利用にあたって

- (1) 宮城県鉱工業生産指数（IIP=Indices of Industrial Production）の目的
本県の鉱工業生産活動の動向を、総合的かつ迅速に把握することを目的としている。
- (2) 基準時
平成27年(2015年)を基準時とする。したがって、指数値は平成27年の年平均を100.0とした比率で示し、ウェイトは平成27年（2015年）の産業構造による。
- (3) 分類
日本標準産業分類を基本とした「業種分類指数」と、品目の経済的な用途に着目し、財別に分類した「特殊分類指数」の2つがある。（各品目の財別分類については下記ホームページから「平成27年基準 宮城県鉱工業生産指数 採用品目一覧表」をご覧ください。）

財別分類

最終需要財:鉱工業又は他の産業に原材料等として投入されない最終製品					
投資財 建設財 と資本財 の合計	建設財	建築工事用の資材及び衛生用陶磁器等の建築物に付随する内装品及び土木工事の資材。	消費財 家計で 購入さ れる製 品	耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年以上で、比較的購入単価が高いもの。
	資本財	家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で、比較的購入単価の高いもの。		非耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年未満で、比較的購入単価が安いもの。
生産財:鉱工業及び他の産業に原材料等として投入される製品。企業消費財を含み、建設財を除く					
	鉱工業用生産財	鉱工業の生産工程に原材料、燃料、部品、容器、消耗品、工具等として再投入される製品。			
	その他用生産財	非鉱工業の原材料、燃料、部品、容器、消耗品及び企業消費財。			

- (4) 採用品目
採用品目数は、鉱工業全体で171品目である。
なお、1つの品目がその性質上2つの財にまたがる場合があるため、表中の業種別品目数の合計と特殊分類(財別分類)の品目数は一致しない。
- (5) ウェイト
ウェイトは、個々の品目の鉱工業全体に占める重要度のことであり、鉱工業全体を10,000.0とした構成比で表している。
ウェイトは付加価値額ウェイトであり、その算出にあたっては「平成28年経済センサス-活動調査」を基礎にしている。
- (6) 指数作成の方法
指数の算式は、基準年次の固定ウェイトで加重平均するラスパイレス方式である。
- (7) 季節調整
季節調整とは季節変動を除去することであるが、本県ではセンサス局法（X-12-ARIMA）によって季節指数を求め、原指数を季節指数で除して季節調整済指数を算出している。
- (8) 寄与度
鉱工業の上昇または低下に対して、各業種がどれだけ影響を与えたのかを示す。
- (9) 数値
令和6年2月の数値は速報値、表中の「r」は修正値を示す。
- (10) 参考値
「普通自動車」は、平成27年(2015年)基準時には生産がないため、宮城県鉱工業生産指数（「小型自動車」は含む）には反映していないが、現在は、「普通自動車」も生産されていることから、参考値として、「小型自動車」に「普通自動車」を含めた鉱工業生産指数を試算したものを8頁に掲載している。
- (11) 資料
経済産業省:「経済産業省生産動態統計調査」
経済産業省:「鉱工業(生産・出荷・在庫)指数の動向(速報)」
東北経済産業局:「東北地域の鉱工業生産動向」
厚生労働省:「薬事工業生産動態統計調査」
宮城県:「宮城県工業動態統計調査」

この月報に関する問い合わせは下記に御連絡ください。

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号
宮城県企画部統計課産業経済班 Tel 022-211-2457

ホームページ（統計課公表データ）

アドレス <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/toukei/toukeidata.html>